

# 1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年11月9日 No.13 NPTまであと175日

四街道市  
楠岡巖さん

## 日本ユネスコ協会会長にサインもらう

千葉県四街道市のユネスコ協会(国際連合教育科学文化機関)顧問の楠岡巖さん(80)は11月7、8両日、横浜大さん橋ホールで開催された「第65回日本ユネスコ運動全国大会 in 横浜」で「核兵器のない世界を」署名を訴え、松田昌士日本ユネスコ協会会長(東日本旅客鉄道(株)相談役)に署名をもらいました。

楠岡さんは、松田会長が大会の冒頭あいさつで「オバマ米大統領がノーベル平和賞を受賞したのは、核兵器をなくすための行動が評価されたから」という部分に、「自分が取り組んでいることが会長まで伝わっている」と感銘を受け、初日終了後開かれたパーティーで、会長に声をかけました。

また、その場に一緒にいた内田眞朗事務局長にも快くサインしてもらいました。他にも飯田市の事務局長や神戸市の副会長などに呼びかけると「ユネスコのいちばんやっている活動だから」と署名が寄せられました。

楠岡さんは全国300の協会に呼びかけたいと話しています。



国際連合教育科学文化機関の旗

## 「市民と一体となった盛り上がりが大切」 核廃絶署名「皆さんと一緒に考えたい」

高梁市  
長 懇談

近藤市長(右手前)と懇談する高梁原水協の皆さん(奥左から2人は平井原水協事務局長) = 11月5日、高梁市役所



高梁原水協(理事長・三村盛紀氏)は11月5日、近藤隆則市長と懇談しました。10月16日に高梁市長に提出していた「核兵器廃絶運動の促進に関わる申し入れ」に基づくもの。

冒頭、三村理事長は「4月のオバマ発言以来、全世界で核兵器廃絶の大きな流れが起きている。この流れを確かなものにするためにも、いま核廃絶の大きな運動が求められている。非核自治体宣言を行い、市長も賛同いただいている核兵器廃絶の署名に行政として協力いただきたい」と申し入れました。

近藤市長は、「唯一の被爆国として、核のない世界を目指すというのは共通の認識だ。みなさんの活動に敬意を表する。市としても、市民と一体となった盛り上がり大切だと思う。どのような方法がいいか、皆さんと一緒に考えたい。」と述べられました。

高梁市原水協は行政の協力として、例えば市の広報に掲載していただく。公的施設で署名コーナーを設置する。町内会の協力を求める。などを提起しています。

具体的な方法については市の担当窓口と原水協で協議することになりました。また、市長の賛同メッセージを広く市民に知らせることも了解いただきました。

この日の申し入れには人権連、新婦人、市職労、共産党、県原水協平井昭夫事務局長が参加。市長と川上一夫総務部長が出席されました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>  
携帯電話からもアクセスできます。

# 「オバマさん、来日するなら被爆地へ」の声も

## 日本原水協が上野公園で6・9行動

日本原水協は6日、東京原水協や加盟中央団体とともに上野公園で「核兵器のない世界を」署名を集める「6・9」行動を行いました。

秋晴れのもと、全労連、医労連、郵産労など労働組合や宗平協、民青同盟の代表が次々とマイクを握り、ニューヨークに署名を届けるために協力を呼びかけると、外国人観光客や家族連れ、中高生などが署名に応じました。

「オバマさんも来日するなら広島、長崎に行つて欲しい」と言いながら署名する人や、「どうして破滅の方向に行くのかわからない。核兵器はなくすしかない」と話しながら署名する人もいました。



「核兵器のない世界を」署名用紙や大判幕に写真が載っている湯川れい子さんが、大ヒット上映中の映画『マイケル・ジャクソン THIS IS IT』の字幕監修者であることにちなみ、同映画のサウンドトラックを流しながらの行動に、5歳の子どもが「マイケル・ジャクソンだ」と反応するなど、注目を集めていました。

行動には10団体から33人が参加し、1時間で署名が259筆、8150円の募金が寄せられました。



## NPTむけ「核兵器のない世界を」署名推進を討論

### 自治労連 憲法闘争交流集会

自治労連は11月7日、都内で第5回憲法闘争をすすめる全国交流集会を開き、142人が参加しました。基調報告では、来年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けた「核兵器のない世界を」署名の推進、200人を目標にした代表派遣にとりくむことを提起しました。

特別報告では、京都の代表がNPT再検討会議に20人の代表を送る決意を、「被爆地として腹を据えた運動を」と述べた長崎の代表は、署名や募金など運動に支えられて代表を送りたいと発言しました。

日本原水協の土田弥生事務局次長が核兵器廃絶をめぐる世界情勢と国内の地方自治体首長などを先頭にした地域ぐるみの運動を報告し、自治体労働者への期待を述べました。

### 全日本民医連 活動交流決起集会

120万筆を目標にとりくんでいる全日本民医連は同日、都内で署名推進のための活動交流決起集会を開きました。長瀬文雄事務局長は、多くの署名を集め、日本国民の声を示そうと呼び掛けました。

活動交流で和歌山の代表は、患者と医療生協組合員への機関紙配布者に署名を訴えたところ、患者から封筒に一言メッセージを書いて送り返してくれていると紹介、県連目標の3万筆を達成したと報告した鹿児島県の代表は、「訴えれば誰でも共感してくれるのを実感した」と強調。「ピースチャレンジャー」となって1000筆の目標を達成した京都の代表が発言しました。

日本原水協の高草木博事務局長が学習講演を行いました。

